



# ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2266 号  
一般社団法人投資信託協会 加入  
一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

2020 年 3 月 10 日

受益者様ご各位

ファイブスター投信投資顧問株式会社

「アジア・エクイティ・インカム・ツインα・ファンド（毎月分配型）」の基準価額下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日「アジア・エクイティ・インカム・ツインα・ファンド（毎月分配型）」の基準価額が、2020 年 3 月 9 日の基準価額に比べ-5.86%下落いたしました。この下落の要因と今後の展望に関しましてご報告いたします。

敬具

## 記

### (1) ファンドの基準価額と騰落率

ファンド名	3月9日 基準価額	3月10日 基準価額	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
アジア・エクイティ・インカム・ ツインα・ファンド（毎月分配型）	1,622 円	1,527 円	▲95 円	▲5.86%

### (2) 基準価額の変動要因について

本ファンドは、主要投資対象（基本投資配分比率 95%）とする「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-アジア・エクイティ・インカムプラス・ストラテジー・ファンド（適格機関投資家限定）-ツイン・アルファ・クラス」（以下、ケイマン籍円建外国投資信託といたします。）への投資を通じて、日本を除くアジア諸国・地域（主として、香港、韓国、台湾、タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポールおよびインド等）の株式に実質的に投資を行います。従いまして、本ファンドの基準価額は、ケイマン籍円建外国投資信託を通じて、上記の日本を除くアジア諸国・地域の株式の値動きの影響を大きく受けました。



主な変動要因としては、「株式要因」が▲3.58%、「為替要因」が▲2.28%となり、それぞれがマイナス要因となりました。基準価額は、その他要因も含めると▲5.86%の下落率となりました。

基準価額騰落率の変動要因						
対象期間: 2020年3月9日から2020年3月10日まで						
「株式要因」			「為替要因」		その他 要因	合計
価格 変動	オプション 効果	配当 要因	価格 変動	オプション 効果		
▲3.67%	+0.09%	0.00%	▲2.11%	▲0.17%	▲0.01%	▲5.86%

(※表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致とされない場合があります。)

### (3) 市況概況

本ファンドについては、投資対象の各国金融市場におけるリターンを1日遅れで反映させる仕組みとなっております。3月6日から3月9日までの主要アジアの株式市場の推移(現地通貨ベース)は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念から、MSCI Asia ex Japan index が▲4.8%の下落となり、香港ハンセン指数が▲4.2%、インド SENSEX 指数が▲5.2%、台湾加権指数が▲3.0%、ジャカルタ総合指数が▲6.6%の下落となりました。

また、為替市場では、リスク回避姿勢の高まりから相対的に円が強含み、米ドルが106.25円(3月6日)から102.01円(3月9日)まで▲4.0%の円高ドル安となり、アジア通貨に対しても、香港ドルが▲4.0%、インド・ルピーが▲4.0%、台湾ドルが▲4.2%、インドネシア・ルピアが▲4.8%の円高アジア通貨安となりました。(※為替市場の表記は、全て対円騰落率とし、投資信託協会が公表する仲値を使用しております。)

新型コロナウイルスの感染拡大懸念は、中国本土にとどまらず、世界経済を牽引する米国内においても流行の兆しが確認されたことなどから、世界的な景気減速の高まりを受けて、リスク回避一色となる世界同時株安の展開をもたらし、アジアの株式市場も大幅な下落となりました。

以上